

菊陽人 りさーち



おくむら まお
奥村 真央さん (12歳)
[馬場楠]

- 将来の夢 産婦人科医
- 自分を一言で表すと 努力家
- 自慢 少ない時間にたくさんの本を読むこと。
- みんなに伝えたいこと これからも勉強を頑張っていくので、よろしくお願いします。

「菊陽人りさーち」に掲載を希望される方は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記のうえ〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している方に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらよりご連絡させていただきます。



おくむら ゆま
奥村 友菜さん (10歳)
[馬場楠]

- 趣味 運動、ゲーム、外で遊ぶこと
- 将来の夢 コック
- 自分を一言で表すと がんばり屋さん
- 今一番やりたいこと お菓子作り

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.11】

「どうしたの」と相手の気持ちを理解しようと積極的に働きかける勇気を持つ。「ため」で人を判断した自分の過ちにも気づいていくような言葉の受け止め方を。こういった関係が豊かな子どもの世界を創り出していくのでしょ。

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

私は、この学習をして、自分はどうだったか、人の気持ちを理解して行動していたのか、ふり返ってみました。ふだん「差別やいじめはいけない」と思っている、実際、私たちにできるのはとても小さなことです。でも、その小さなことの中に、たくさんの勇気がこめられていることがわかりました。人を守るという勇気が私の中にあるのか、私はちゃんとそのとき声をかけられるのか、とても不安です。でも、それをできるようになれば、自分にとっても、その人にとっても大切なことになると思います。なので、「かわいそう。」と遠くから見るのではなく「どうしたの。」と相手の今の気持ちを知ることが大切な勇気だと私は思います。今までは、「かわいそう。」と遠くから見ていたことが何回かあったので、「どうしたの」と人を守る勇気を出したいと思います。



▲「どうしたの」と人を守る

『伝えたいただひとつのこと』を学んで
菊陽西小学校6年 土屋 遥

まこと君、今日まで心がいたかったよね。クラスのみんなは、今までずっと、まこと君のこと、考えてなかった。今までずっと、まこと君のこと、わかんなかった。まこと君はほんとは悪い子じゃないのに、あいちゃんたちが「男の子かえつたよ。」といったから、かさでたたいたんだよね。まこと君のつらい気持ちを、あいちゃんたちはわかってくれなかったんだ。
「いつか、ときどき、あるよね。でも、今はけんじ君と、あいちゃんといっちゃんと仲良くかえられて、よかったね。「作文をか」で、すごいことだよ。それまで、心が、もやもやして、いたかったよね。」ぼく、さみしかったんだよ。ぼくのこと、ずっとわからなかったの？」て、きもちをつたえられてよかったね。
わたしも、となりのせきの男の子を、らんぼうでいじわるだと思っていました。
三学期になって、みんなで、詩をおぼえる勉強をしたとき、となりの男の子が、「先生、みーちゃんが、おぼえたよ。」といってくれたので、とてもびっくりした。すごく、やさしい人だなあと思いました。
わたしも、いじわるされてないのに、みためでこわそうと思っていたから、

まこと君へ
菊陽北小学校3年 青野 美咲

きくよう文芸

菊陽句会報

三寒の四温を待ちて庭仕事	坂本百合子	明暗もありし思ひ出年明くる	吉野 早苗
初日記二行の夢で始まりぬ	田中 郁子	万葉の蒼と湛えて新春の川	川口 豊子
しらがねの波寄す島の聖夜ミサ	村田 正三	冬晴や子どももなざる武者返し	井上久美子
凍滝や千万本の針となり	井 子文	七草やパツク解けし野の香り	宮川ユキエ
泣き初めや次代に繋ぐ夢のあり	財津 早雪	初句会佳き句に出合ひ良き友と	日高 妙子
恙無く日々を紡いで去年今年	原野レイ子	臘梅の香のほどけゆく未枯庭	曾我 育代
外を掃くに手も悴みて寒の入り	西村ひとえ	香りたつ団樂の間の冬薔薇	曾我トモ子
初日記清しき日々の多かれと	力 幸子	書齋にも優しき詩画の初曆	紫藤 祥子
思ひ出は良きことばかり賀状書く	寺尾千代子	落葉踏む蹠に慈悲の月詣り	村上 朋子
七草の粥の心で夫を待ち	高橋 孝子	末孫は祖母の背を越し初詣	合志 重子
羽根つきや無邪気に遊ぶ大人達	堀川 妙子	豊饒と金寿の句友と屠蘇の味	野口 今史
枯山に今でも残る防空壕	佐藤 航	日記買ふ育てる夢の少なくも	松橋 強
賀状出せなかつたよごめんさい	佐藤 健	子は吾れと地の塩となれ去年今年	佐藤 澄世
実千両のちは神の意のままに	佐藤 節	年賀状交友既に五十年	三島 一路

短歌会

輝くばかりの雪に埋れし吾が庭に南天の実は真赤に映える
大雪の積もりし庭は朝の日に解けて青葉が見え始めたり
枝先の輪切りの蜜柑に緑濃き鳥寄り来るを夫は喜ぶ
新玉の年を寿ぐはらからと喜び分ちて乾杯をする
七草は今年はずまず娘らと購買来たり済ましたりけり
元日の朝の光の中に降る絹糸の如き一瞬の雨

今村 貞子
岡本まさえ
菊川あさみ
下田 久子
皆島キクノ
森 敦子

菊陽町人権教育研究大会 へのご案内

- 日時 3月6日(土) 午後1時15分開会
- 会場 菊陽町図書館ホール
- 内容 ①人権講演会「報道と人権」
講師 河野 義行さん (松本サリン事件の第1通報者)
時間 午後1時30分～午後3時
②人権劇「カボチャの花」
出演 東部町民センター「ふれあい劇団」
時間 午後3時10分～午後3時55分(予定)
- 問い合わせ 菊陽町人権教育・啓発課
☎232-2113

入場
無料



▼笑顔がいいね

あいちゃん、いっちゃんわたしは
いっしょだね。
これからは、何かあったら、どうして
乱暴なかなあと、ちゃんと意味を
考えようと思う。どうして、うったり
したのか、聞こうと思います。
注「ぼく
さびしかっ
たんだよ。」
(人権教育
教材)を学
習して、主
人公まこと
君に書いた
お手紙です。